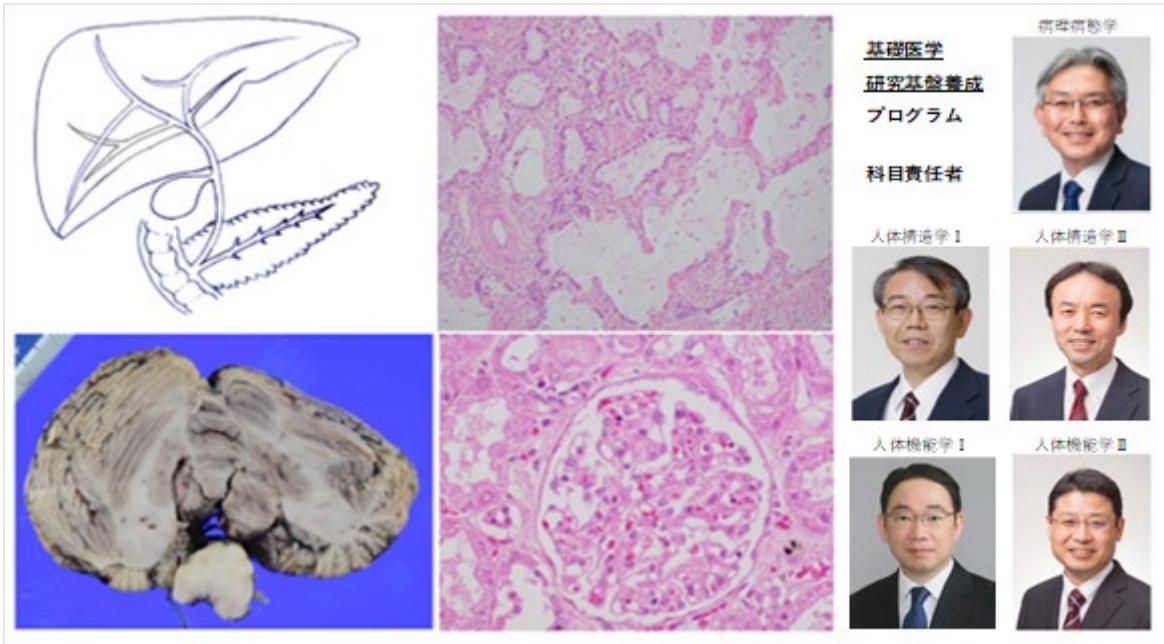


基礎医学研究基盤養成プログラム

人体構造の正常と異常(病気)について理解できるようになります



基礎医学研究を立案および遂行するうえで、人体の構造を理解することは必須であります。本プログラムでは、人体の構造(肉眼的および組織学的)と生命活動を担う全身臓器の生理機能、さらには臓器の異常(疾患)に関する専門的かつ最新の知見を理解し、人体を対象とする医学分野の基礎から応用に至る幅広い知識と国際的視野、さらには医学領域における unmet needs 解決への思考力も修得できます。現在および将来において医学研究分野に携わる方のリスクリングのみならず、人体について新たに学びたい方も歓迎します。

正課の授業科目によるリスクリングプログラム

プログラム名	基礎医学研究基盤養成プログラム
プログラム設置部局	医薬保健学総合研究科医科学専攻
プログラムコーディネーター	原田 憲一
概要	本プログラムでは、人体を対象とする医学分野の基礎から応用に至る幅広い知識と国際的視野を学ぶことを目的とします。人体の構造と機能および疾患の病態に関する授業を通して、医学研究に必須な知識およびunmet needs解決への思考力育成を提供します。
到達目標	1. 人体の構造(肉眼的および組織学的)の専門的かつ最新の知見を理解できる。 2. 全身諸臓器の機能に関する専門的かつ最新の知見を理解できる。 3. 全身諸臓器の疾患の病態に関する専門的かつ最新の知見を理解できる。
履修資格・条件・前提知識の目安	基本的な生物学の知識を有し、現在または将来において医学研究分野で活躍する意欲をもっていることが望されます。
履修期間及び開始Q	履修期間:Q1からQ2、開始Q:Q1
修了要件	6単位を修得すること

授業科目名	開講学類等	単位数		修了要件 内訳	備考
		必修	選択		
人体構造学I	医科学専攻	1			
人体構造学II	医科学専攻	1			
人体機能学I	医科学専攻	1			
人体機能学II	医科学専攻	1			
病理病態学	医科学専攻	2			

特記事項	特になし
問合せ先	プログラムコーディネーター:医薬保健研究域医学系 原田 憲一 メールアドレス:kenichih@med.kanazawa-u.ac.jp 担当係:医薬保健系事務部学生課医学学務係(大学院担当) メールアドレス:t-daigakuin@adm.kanazawa-u.ac.jp

プログラム名						
基礎医学研究基盤養成プログラム						
プログラムのCP(教育課程編成に関する基本的考え方)						
<p>本プログラムでは、基礎医学を中心とした学問分野における人体の構造から疾患に至る幅広い知識を得るために科目を体系的に用意している。</p>						
教育内容・教育方法(教育課程実施)に関する基本的考え方						
<p>教育内容</p> <p>(1)人体構造学Ⅰ・Ⅱでは、人体の脳、胸腹部臓器の肉眼解剖学および組織学に関する専門知識を学ぶ。</p> <p>(2)人体機能学Ⅰ・Ⅱでは、全身諸臓器の機能およびその異常に関する専門知識を学ぶ。</p> <p>(3)病理病態学では全身諸臓器の疾患の病態について学ぶ。</p>						
2. 教育方法						
<p>(1)すべての科目は各専門分野の講師陣による対面での講義とする。</p> <p>(2)人体の正常から異常(疾患)にいたる幅広い専門的知識をもとに、医学研究への応用に関する知見を修得する。</p>						
プログラムを構成する科目						
科目番号	授業科目名	学修目標	Q1	Q2	Q3	Q4
01018	人体構造学Ⅰ	医学研究に必要な人体構造の概略を説明できる。 (肉眼解剖学、顕微解剖学)	○			
01019	人体構造学Ⅱ	医学研究に必要な人体構造の概略を説明できる。 (顕微解剖学、神経解剖学)		○		
01237	人体機能学Ⅰ	人体の生命現象を担う、心臓、肺、消化器などの働きとその調節、各臓器間の相互作用、疾病との関連について学習し、生命にかかわりを持つ研究者、職業人としての基礎を修得できる。	○			
01238	人体機能学Ⅱ	人体の生命現象を担う、脳・神経系の働きとその調節、疾病との関連における基礎知識を学習し、生命にかかわりを持つ研究者、職業人としての基礎を修得できる。		○		
01005	病理病態学	人体の疾患について、ほぼ全臓器について疾病的種類とそのメカニズムを修得できる。	○			